

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス つなぐ松代教室		
○保護者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	令和7年1月20日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援と放課後等デイサービス、両方のサービスを一つの事業所で行っているため、幼児～高校生まで幅広い年齢層の子どもたちが利用しています。また、高学年向けの同系列教室と密に連携を取っているため、安心して教室の移行をしやすい環境を作っています。	着席課題・運動の活動プログラムが固定化しないように工夫しています。また、職員間で進捗状況の共有や意見を出し合いながら活動プログラムを考えることにより、子どもたちの特性や課題に考慮した活動プログラムを提供しております。	平日の活動プログラムでは、集団療育だけではなく、個々に合わせた課題や苦手感などに、より目を向けられるような療育の提供を目指し、個別的配慮や支援を行っています。
2	運動では年間計画を立案し、児童の発達段階に応じて課題を調整しています。また、つなぐでは学校等の体育で行う課題にも対応し、個々の苦手感を少なく出来るよう能力に応じてスモールステップで行っています。「できた!」をひとつでも増やし、達成感に満ちた運動を行っています。	運動に特化した専門職が児童一人一人の能力や課題を把握し、集団で行う運動課題を細かく分節化します。それにより児童の考察を立案し、苦手な部分を見極めアプローチしています。一つずつ課題をクリアしていく事で自信に繋げ、集団の中で楽しく運動を行って行けるように促していきます。	土曜、祝日は同系列教室と連携をして運動コースに促しをしています。平日とは違いお預かり時間を短縮し、小集団の枠を3つ作る事でより児童一人一人の個性を見極めています。また、専門職が児童を個別で介入することで適切な運動や指導を職員間で共有し、長期的に児童をサポートしていきます。
3	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの成長や課題について共通理解をすることができています。	モニタリング時の面談だけではなく、LINEやメールなどを有効活用し、保護者はいつでも気軽に相談できるようにしています。また、保護者からの悩み事などの相談があった際には、家族支援を行っています。参観期間を設けて保護者の方に成長を見て頂いております。	指導員と保護者の面談だけではなく、保護者同士の交流の場を作り、困り感や悩み事を共感出来る時間や場所の提供をより多く作り、保護者も安心して利用できるような場面の提供をしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースに限りがある為、児童が思い切り走り回れるようなスペースの確保が難しいです。	安全面の保障を考えると移動手段の配慮や保険面の保障を考えていく必要があります。	定期的に体育館を借りたり、公園での活動を増やしていきます。
2	長期休みの早朝からの受け入れが難しい。	保護者のニーズに全て答えることが難しいです。	保護者様の就労時間に応じてできる限り対応していきます。また、今後も学童の併用利用している児童に関しましては学童へのお迎えも引き続き行っていきます。
3	送迎の範囲が決まっている。	人員体制や教室の安全面を考えると難しいです。	契約時に送迎の事をお伝えして理解をして頂いた上でご利用を促しております。